

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ（エレミヤ31:21）

人になれ 奉仕せよ

聖句： 神は愛です。（ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節） 今月の聖書のみことばです。年長組は暗唱します。

保育目標：	0歳児	・心地よい環境の中で安心して過ごす。
	1歳児	・安心して保育者と一緒に遊ぶ。
	2歳児	・先生や友だちと好きな遊びを見つける。
	3歳児	・喜んで登園し、好きな場所や友だちを見つける。
	4歳児	・安心して過ごし、自分のやりたいことを見つけて遊ぶ。
	5歳児	・進級したことを喜び、友だちと遊びを楽しむ。

ご進級、ご入園おめでとうございます。

今年春の訪れが早く、近くの公園の桜や子どもたちが去年の冬に植えたチューリップ、菜の花やマーガレットなどの豊かな色や香りが私たちの心を和ませ穏やかにしてくれました。自然のもつ癒しと励ましの力を改めて感じる事ができ、神さまに感謝いたします。

2021年度がスタートしました。4月は、出会いの季節ですね。

神さまの祝福のもと、六浦こども園に招かれた新入園の皆さまお一人お一人を心から歓迎いたします。また、1つ大きくなって進級した皆さまに今年度も一緒に園生活を歩ませていただく喜びと感謝を捧げます。私たちは新しい出会いを楽しみにしながら子どもたちが安心して園で過ごせるようにと願い、居心地の良い場所作りやわかりやすい物の配置など様々な準備をして参りました。

子どもたちにとって大好きなご家庭から離れて園で生活するとは、いったいどのような気持ちなのでしょう。きっと新しい冒険旅行に出かけるような…行く手に何が待ち構えているのかわからないドキドキとワクワクで、子どもたちの心は揺れていますね。自分でもどうしたらよいのかわからないのではないのでしょうか。また、出発の仕方も一人ひとり違います。サッサと歩き出す人もいれば、なかなか一歩を踏み出せない人もいます。そばで見ている保護者の方はどうにお子さんを送り出したらよいのか、迷うことや焦ることがあるかもしれません。でも、歩き出すのは子ども自身なのです。大人はやはり子どもの持つ力を信じて、自ら一歩踏み出すまで待つこと（歩き出すことを願いながら）しかありませんね。私たちは、子どもたちの強力なサポーターになるために、まず初めに子どものありのままの姿を受けとめ、言葉にならない思いに心を寄せていきます。『あなたのままでいいよ』と自分が愛されていると感じた子どもは、安心してその場にいられます。そして色々な経験を重ねる度に、子どもは『自分』らしさを見つけていきます。それは、乳児も幼児も同じでしょう。『〇〇な自分』『××な自分』どんな自分もかけがえのない大切な自分です。『自分創り』を始める子どもたちに私たちは心からエールを送ります。先日、乳児クラスに少しだけお邪魔した時のことです。部屋の扉を自分の力で開けようとしているAくんに会いました。何度も力を入れて扉を横に引いていると開けられていい笑顔になりました。すると今度は閉めようとして力を入れています。私はAくんに見えないように扉に手をそえ指を挟まないようにしていました。ところがAくんは手を挟まないように力の加減をしてそうと扉を閉めることができましたのです。偶然なのかしらと見ていると、真剣な表情の中に試行錯誤しているのがわかりました。子どもって凄いですね！その後しばらく開閉をくり返し、開ける度に「ばあ〜」と私と目を合わせて遊ぶことを楽しんでいました。

今年度も新型コロナは続くでしょう。私たちは神さまに祈ることを大切にして病気を正しく恐れ必要なことをきちんと行っていきます。そして、保護者の方々と思いを合わせてこの苦難を乗り越えていきたいと思えます。少しでも気になることや不安なことは遠慮なく声をかけてお尋ねください。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちと一緒に園生活が歩めることは、私たちの大きな喜びです。そのことを心から神さまに感謝して、今年度の歩みも神さまと共にありますようにと祈ります。

園長 鈴木 直江